

視察レポート

in 広島

10月2日 広島県呉市

10月3日 広島県府中市

研修テーマ

10月2日 広島県呉市
○空き家対策事業について

10月3日 広島県府中市
○義務教育学校の取り組みについて



呉市

伊藤 秀樹

はじめに

飛鳥村で最近空き家が目立つようになった。

空き家の有効活用がでないか、空き家対策に積極的に取り組んでいる、呉市に行政視察にいった。

呉市の概要

呉市は、広島市の南側に位置し瀬戸内海と山に挟まれた地形で山側に住

宅が密集している。

人口は約24万人、ここ

5年間で1万人程度人口減となっていて、65才以上が34・8%と高齢化も進んでいる。

主な産業は戦争中に軍港があったことから戦艦大和に代表されるように造船やそれに関連した産業が盛んで、海に面した所は造船所と製鉄所や海上自衛隊の基地が占めている。海軍の街とも言える。

空き家の背景

呉市の空き家率は22・

1%と高く約2万8千件から高度成長期にかけて船を建造するため人口が増え、その住宅が山を削り無計画に建設され、車が入れないところもある。

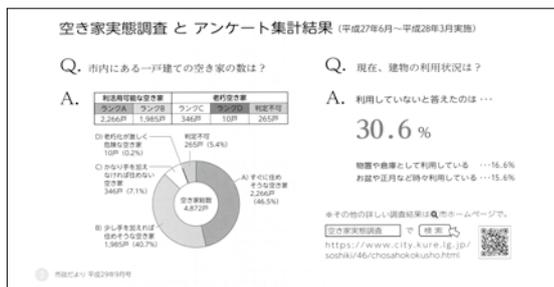
それが、核家族化や少子高齢化に伴い空き家となり、この10年間で約2倍になった。古い住宅も多く近隣住民から苦情や相談が寄せられるように

なった。

空き家の問題点

空き家すべてに問題があるかと言うとそうではない。ここで問題になるのは管理されず放置されている空き家で、更地になると固定資産税が高くなるので解体せずに放置してある空き家も多くある。

所有者が分からないものや、相続がされておらず地権者が多数ある空き家は問題も多く、行政として対応に苦慮する。



市政だより平成29年9月号より

議員行政

呉市の空き家対策

◎平成23年度

「呉市危険建物除去促進事業」の開始

◎平成25年度

「呉市空き家等の適正管理に関する条例」の制定・施行

◎平成26年度

国が空き家に関する特別措置法を制定したことにより「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の制定・部分施行

◎平成27年度

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行

「呉市空き家等の適正管理に関する条例」の一

部改正

など呉市独自の法整備を整え空き家実態調査を実施した。

◎平成28年度

「呉市空き家等対策計画」の作成

◎平成29年度

さらに移住希望者の住宅取得支援・子育て世帯定住支援・学生シェアハウス支援等に補助金を出すなど空き家の有効活用の補助制度を充実させた。

「空き家バンクDIY



空き家に関連した補助事業の数々



空き家活用ケース3. 空き家を通じた地域コミュニティ

阿 空き家活用を通じて地域コミュニティを築くという取り組みが、呉市でも広がっています。今回は、空き家を活用して地域コミュニティを築くという取り組みについて、詳しく紹介します。



学生も、まちの人も喜んでくれて良かった

「学生も、まちの人も喜んでくれて良かった」という言葉が、空き家活用を通じて地域コミュニティを築くという取り組みの成果を示しています。

家が広げる地域の輪。空き家を活用して地域コミュニティを築くという取り組みが、呉市でも広がっています。

リフォーム補助事業」を開始

解体ばかりでなく利活用にも力を入れている。

平成26年度に国が制定した「空き家に関する特別措置法」により、危険な空き家や所有者が分からない空き家の対処方法が簡略化され、解体件数が平成29年度末までの実績で587件に達した。

今後の課題

支障が少ない物件から解体しており、今後は、特に難しい案件が多くなると予想される。

住民の中には危険な空き家は市が解体してくれると思っている方がいる。空き家は個人の財産なので、個人で対応することが原則であることを市民



の皆さんに理解してもらい、空き家の所有者が分からない場合は、周囲の住民、自治会等に聞き取り調査をしているが、時間と労力がかかり困難を極めている。

解体後の空き地について、適切な管理と利活用ができるような施策を今後、検討・実施などの課題が残る。



呉氏っとりサブレ

終わりに

飛鳥村において、今のところ所有者が不明な空き家はないようだが、全て適切に管理されているかというところを、疑問符がつく。村の活性化のためにも空き家に人が住んでもらえるような環境づくりが村の課題だと考えます。



最後に、ゲリラ豪雨の災害による復興で多忙な中、今回の視察に快く協力いただいた呉市に対してお礼申し上げますと共に、空き家対策事業が市政に寄与し呉市が益々発展されることを心より御祈念申し上げます。

府中市

鈴木康祐

6月の議会中に村長が、飛鳥学園を小中一貫義務教育校にしたいと、議員と共に先進地視察が出来ないだろうかとのことで、広島市をはじめとする多くの一貫校を取り組む広島県に視察先が決まった。ところが、視察を受け入れていただいた、呉市・府中市共に7月の西日本豪雨で大変な被害が出ているとのことで、視察に向かうことで迷惑にならないか再度問い合わせたところ、両市とも対応は可能と、快く受け入れていただいた。忙しい時に受け入れていただき、関係の方々に感謝を申し上げ、ここに災害に遭われた方々に、心からお見舞いを申し上げます。

初日に利用した広島県道路(クレライン)は3カ月ぶりに利用ができるようになったばかりで、J



災害で発生した土砂の集積所

R県線はようやく一部の区間で運行ができるようになったが、8月に参加した「くれ災害ボランティアセンター」はまだまだ開設されていて、西日本豪雨の被害の甚大さが、現地を訪れて実感させられました。一日も早い復興をお祈りします。

小中一貫義務教育校と現在の飛鳥学園で行われている、小中一貫校の違いはおおまかにいうと、小学校、中学校に置かれている校長がひとりになる。教員は原則として小学校の教員の免許状および、中学校の免許状を有するものでなければならぬこととしている。1年生で入学式が行われ、

9年生で卒業となる、などで後は今までと変わりません。

それでも、今回視察させていただいた「府中市立府中学園」の先生たちは大変な努力をされていて、まず先生の意識改革「私は小学校の先生」「私は中学校の先生」の意識を取り払い、会議の簡素化、「去年はこうだった」という慣習の取り払い、等々すべては生徒のために、「社会で通用する人としての力をつける」「幸せな未来へつながる進路を保障する」と、目指す目標を持ち、我々にお話



府中学園

府中学園の児童・生徒数と学級編制(5月1日現在)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	合計
児童・生徒数	73	96	91	81	99	112	90	101	113	35	891
学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	8	35

市内には他に義務教育学校の府中明郷学園(299名)、併設型小中学校が2学園(2中、6小)ある。

をして下さる先生方の目
は輝き、自信に満ちたも
のでした。

学ばせていただいた
ことは、ここでは書きさ
れないくらいあり、ひと
つずつ前に進むよう、府
中学園を本手として行政、
教育委員会と共に飛鳥村

の大切な財産である子ど
もたちを育てなければい
けないと学ばせていただ
きました。

1、学びの充実
【授業時間の始まりをそ
るえる】

45分授業、50分授業の

府中学園の挑戦

府中教育学校 府中市立府中中学 平成30年4月23日

1. 府中学園の目指すもの
○府中学園では、全ての児童生徒に社会で通用する人としての力を身につけ、
○府中学園では、全ての児童生徒の幸せな未来とそれにつながる道徳教育を推進します。

2. 府中学園カリキュラム(全体図)

学年	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
授業時間	45分		45分		50分	
キーワード	多様な価値観の尊重		協働的な学び		個人の学びの充実	
教科指導	各教科 学習目標達成		協働的な学び		個人の学びの充実	
総合的な学習の時間	地域を学ぶ		地域を学ぶ		地域を学ぶ	
学習活動	1年からのめざす学習目標		1～3年間のめざす学習目標		4～6年間のめざす学習目標	
生活指導	生活指導		生活指導		生活指導	
行事	運動会		運動会		運動会	
学校行事	文化祭		文化祭		文化祭	
特別活動	なごみ運動会		なごみ運動会		なごみ運動会	
クラブ活動	クラブ活動		クラブ活動		クラブ活動	



府中学園要覧

始まりをそろえ15分休憩
で低学年の生徒には子ど
もと先生が触れ合う時間
授業についてこれなかつ
た子に学びなおし。

【カリキュラムの見直し】
1年生から9年生まで
の全体を通して教科ごと
にかぶっていることを見
直す。

【学びなおしの時間】

算数、数学を2・4・
6・7年生で年20時間、
九九などひとつづつま
と苦手意識を持ちやす
いので、それぞれの学
年で学ぶ力をつける。

【タイプ別授業スタイル
導入】

少人数指導で基礎学
力をつけるクラス、タ
ブレットを使い自己学
習のできる子のクラス、
もつと勉強したい子・
探求心のある子を支援
するクラスなど、クラ
ス別に教える。

【9年生による上級学校
訪問】

9年生が上級学校訪問
で得た知識を8年生に伝
えることで、進路を見つ
めなおし、8年生は自分
の進路を意識するよう
なる。

【運動会】1～4年生

【体育大会】5～9年生

4年生を第一ステージ
のリーダーとして行事を
進めた結果、見事に務め
る学年となった。

また7年生、9年生と
それぞれのステージで3
回リーダーとしての立場
を務めることができた。



自動走行についての

議員勉強会

10月4日、名古屋大学において未来社会創
造機構の森川高行教授より、自動車自動運転
について説明を受けました。

名古屋大学では超高齢社会の中で高齢者が
自らの意志で移動でき、社会参加率が増加し高
齢者が元気になるモビリティ社会を実現するた
め、産・官・学が連携して運転支援や自動運転
の社会実装に向けた研究に取り組んでいます。

